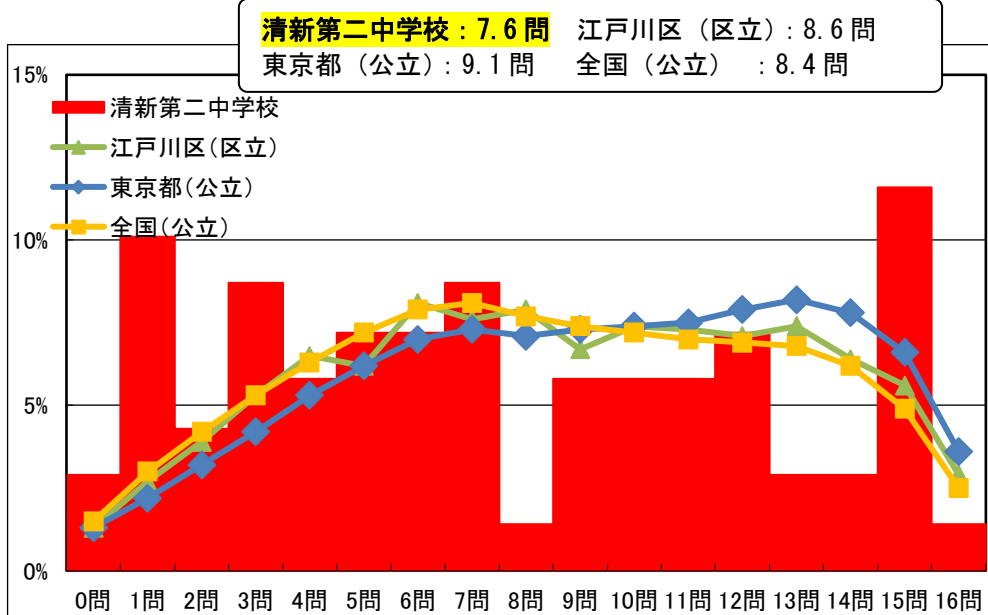


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 清新第二中学校

正答数分布

平均正答数

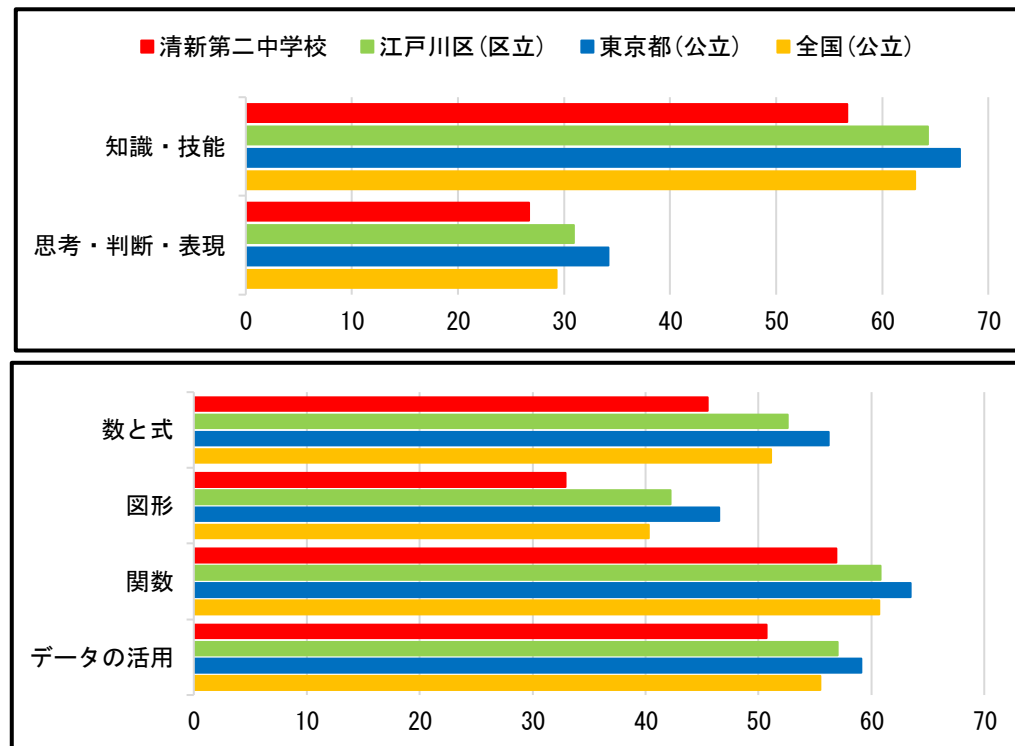


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上 位 ← 下 位			
	A層 13~16問	B層 9~12問	C層 6~8問	D層 0~5問
清新第二中学校	18.8	24.6	17.3	39.0
江戸川区(区立)	22.3	28.5	23.6	25.6
東京都(公立)	26.2	30.1	21.4	22.3
全国(公立)	20.4	28.5	23.7	27.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

清新第二中学校	47%
江戸川区(区立)	54%
東京都(公立)	57%
全国(公立)	52.5%
都との差	10ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

正答数分布グラフからは、上位のA層が一定数はいるものの、圧倒的に下位層のD層が多い。39%も見られる。また平均正答率も東京都の平均を大きく下回り、10ポイントの差がある。どの領域別も下回るが、特に基礎・基本である「知識・理解」が不十分である。今後、ミライシード等を活用しながら基礎の反復学習に努めるとともに、協働的な学習を取り入れ、教え合い活動を積極的に実践することで、全体の学力向上を目指す。